

平成28年度 全国保健師長会 中国・四国ブロック研修会報告

テーマ 「保健師の人材育成の構築 及び保健師活動の可視化と質の向上に向けた取組」

～ 地域に責任を持った保健師活動を行うには ～

1 日 時 平成28年8月27日(土) 13時～16時

※12:15～12:45 ランチョン自由交流会(会活動報告等展示)

2 場 所 広島市東区総合福祉センター(広島市東区東蟹屋町9-34)

3 参加者 103名

4 内 容 1) 全国保健師長会活動方針, 重点目標の説明

講演「保健師人材育成体制の構築の推進について

～キャリアラダー, パスの作成と活用～

全国保健師長会 副会長 山野井 尚美さん

2) 実践報告(1)「人材育成の推進の実際について

～島根県における保健師人材育成ガイドライン策定からその後～

島根県健康福祉部 健康推進課 調整監 藤谷 明子さん

実践報告(2)「災害時における体制整備と保健師の役割

～広島市土砂災害支援活動及び熊本震災派遣から～

広島市健康福祉局 保健医療課 保健指導担当課長 谷本 文代さん

実践報告(3)「保健師による地区診断に基づくPDCAサイクルの実践モデル開発
について～問題発見における課題解決方法～

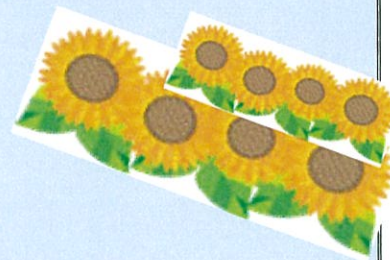
山口県宇部市北部総合支所 副主幹

中山間地域・保健福祉支援チーム 佐々木 里佳さん

3) 研究報告「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動
に関する研究」

福岡県糸島福祉事務所 健康増進課長 森松 薫さん

4) ミニグループワーク, まとめ



【結果報告】

まず, 全国保健師長会の山野井副会長から当会の活動方針等の説明の後, 人材育成体制の構築の推進について講演をいただき, 管理的立場, 統括的な役割を担う保健師に求められる能力は, 職務経験や研修等を通して意識的, 計画的に習得することが必要である。また, 今, 大切なことは, 保健師活動の原点に立ち返り, 地域に責任をもった住民主体の活動を進めていくこと, 管理期の保健師が身につけるべき視点の他, エールもいただき, 「保健師活動の可視化について考えてみたい」, 「業務全体の見直しや人材育成の参考になった」等の感想がありました。

実践報告は, ①「島根県における人材育成」については, 指針を作成し, ラダーと連動した研修実施等の報告があり, 「統括保健師の育成まで視野に入れたガイドラインは参考になった」との感想がありました。②「広島市の災害時における体制整備と保健師の役割」については, 4月に熊本の震災が発生したため, 急遽報告を入れ, 受援と派遣の両方を経験した課題に基づいた体制整備についてまとめが報告され, 「平時から地域の状況と自分の役割を把握しておく必要があることを再認識した」との感想がありました。③H27年度の全国保健師長会研究事業であった山口県宇部市の「地区診断

に基づくPDCAサイクルの実践モデル開発」については、事業を複数で担当する必要性や課題解決の手法について具体的な話があり、「若手の育成に丁寧に取り組んでおられ、素晴らしい」等の感想がありました。

研究報告では、地域包括ケアシステムは各自治体で取り組む喫緊の課題で、市町と保健所の役割と連携、コーディネート力が必要であることが話され、旬な話題で参考になる点が多く、「保健師の役割を改めて認識できた」等の感想がありました。

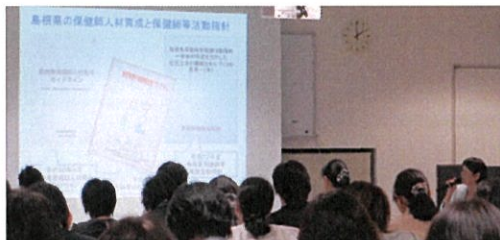
また、会の活動状況の展示やグループワークの前に「元気が出る保健師マーチ」を笑顔で歌って雰囲気づくりを行ったことは大変好評でした。

(文責：中国・四国ブロック理事 亀井 典子)

【研修会の様子】



会の活動報告



研究報告



グループワーク導入へ
保健師マーチで
元気づけ

